



平成20年6月期 第1四半期財務・業績の概況



平成19年11月16日

上場会社名 グッドウィル・グループ株式会社
 コード番号 4723
 代表者 代表取締役会長 兼 CEO 折口 雅博
 問合せ先 執行役員 広報IR部長 大迫 一生

上場会社名 東証第1部
 URL <http://www.goodwill.com>
 TEL (03) 3405 - 9262

1. 平成20年6月期第1四半期の連結業績(平成19年7月1日～平成19年9月30日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期(当期)純利益 | |
|-------------|---------|-------|-------|------|-------|------|------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 20年6月期第1四半期 | 172,268 | 185.4 | 348 | 80.5 | 2,233 | - | 3,191 | - |
| 19年6月期第1四半期 | 60,359 | 47.9 | 1,787 | 36.7 | 1,515 | 50.8 | 312 | 353.9 |
| (参考)19年6月期 | 509,001 | 173.7 | 9,945 | 26.0 | 6,794 | 1.3 | 40,708 | - |

| | 1株当たり 第1四半期(当期)純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 第1四半期(当期)純利益 | |
|-------------|-----------------------|----|----------------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 20年6月期第1四半期 | 1,343 | 3 | - | - |
| 19年6月期第1四半期 | 150 | 23 | - | - |
| (参考)19年6月期 | 19,510 | 20 | - | - |

(2)連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|--------|--------|----------|----|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 20年6月期第1四半期 | 382,704 | 48,249 | 5.3 | 8,139 | 75 |
| 19年6月期第1四半期 | 183,672 | 49,737 | 26.4 | 23,356 | 17 |
| (参考)19年6月期 | 366,638 | 35,957 | 2.6 | 4,569 | 51 |

2.平成20年6月期の連結業績予想(平成19年7月1日～平成20年6月30日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-----|---------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通 期 | 650,000 | 27.7% | 14,000 | 40.8% | 8,000 | 17.8% | 12,000 | - |

3.その他

- (1)期中における重要な子会社の異動 :無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 (2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :有
 (3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期連結業績予想につきましては平成19年9月25日付で公表いたしました「連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」から変更はありません。上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経営成績に関する分析

当第1四半期の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰や米国の個人向け住宅融資の問題を発端に、先行きの不透明感が広がりつつありました。雇用情勢においては、引き続き人材の確保難を背景として、企業の旺盛な採用意欲から労働需給は依然逼迫しております。

このような環境のもと、企業の人材需要に対応すべく、人材供給面において派遣稼働者数が増加しております。当社グループ内においては、M&Aをした(株)グッドウィル・プレミアの融合も円滑にすすみ、結果当社連結グループ従業員数約10万人、社員数約7.5万人の人材を保有しており人材サービス会社としての人材供給面における優位性を確保しております。

また、グループ内における介護・医療支援事業の事業譲渡もその全てにおいて現時点目処が経っており、事業承継先によるお客様のサービス提供の継続と従業員の雇用の継続も充分に見込まれております。

しかしながら、介護・医療支援事業の事業譲渡及び介護関連資産、その他固定資産の売却等は当第1四半期においては未反映となっております。

第1四半期連結業績ハイライト(3ヶ月実績)

当第1四半期:平成19年7月1日～平成19年9月30日/前第1四半期:平成18年7月1日～平成18年9月30日

| | | (単位:百万円) | | |
|------|------------|----------|--------|--------|
| | | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減率 |
| | 売上高 | 172,268 | 60,359 | 185.4% |
| | 売上原価 | 136,420 | 41,021 | 232.6% |
| | 売上総利益 | 35,847 | 19,337 | 85.4% |
| (注1) | のれん償却額 | 1,107 | 579 | 91.2% |
| | 営業利益 | 348 | 1,787 | 80.5% |
| (注2) | 支払利息 | 1,554 | 354 | 338.0% |
| (注3) | 経常利益 | 2,233 | 1,515 | - |
| | 四半期(当期)純利益 | 3,191 | 312 | - |

M&Aをした(株)グッドウィル・プレミアの業績を含む人材派遣事業が引き続き堅調に推移した事により、当第1四半期の売上高は、前年同期より1,119億9百万円増加して1,722億68百万円と大幅な増収となりました。

介護・医療支援事業の事業譲渡を進めた結果、当第1四半期連結会計期間においては介護・医療支援各事業会社における事業継続に伴う営業損失が発生しており、これまでの積極的なM&Aによる金利・のれん償却の増加分を吸収しきれず、経常利益は前年同期より37億48百万円減少して22億33百万円の経常損失となりました。

当期純利益は前年同期より35億3百万円減少して、31億91百万円の当期純損失となりました。

(注1) のれん償却額の増加について

前年同四半期比5億28百万円増加の11億7百万円となっております。

| | | | | |
|------|--------|-------------------|-----|---------|
| <内訳> | のれん償却額 | (株)グッドウィル・プレミア | ... | 6億85百万円 |
| | | グッドウィルプレミア海外営業権償却 | ... | 2億79百万円 |
| | | その他 | ... | 1億43百万円 |

(注2) 支払利息の増加要因について

前年同四半期比11億99百万円増加の15億54百万円となっております。

その主たる要因は借入金が前年同四半期に比べ1,001億38百万円増加した為であります。

(注3) 金融費用の増加要因について

新株予約権の発行費用及び新株発行費用について9億40百万円が営業外費用に計上されています。

主なセグメント別実績
(人材派遣・請負事業)

(単位:百万円)

| | 20年6月期第1四半期 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日 | 19年6月期第1四半期 自平成18年7月1日 至平成18年9月30日 | 増減率 |
|--------------|--|--|--------|
| 外部顧客に対する売上高 | 153,379 | 36,522 | 319.9% |
| セグメント間の売上高 | 375 | 100 | 273.6% |
| 売上高計 | 153,754 | 36,623 | 319.8% |
| 営業利益(又は営業損失) | 2,049 | 2,321 | 11.7% |

人材派遣・請負事業においては、技術系・軽作業系・事務系・製造系・施工管理系・その他の各人材サービスを国内外において提供する総合人材サービス会社としての確固たる基盤整備を進めております。

企業はコスト削減における経営効率化を推進するため、人材派遣需要は引き続き高まっており、技術系・軽作業系・事務系・製造系・施工管理系・その他の各人材サービスも継続した成長が見込まれております。

当社グループ内における中核事業は技術系人材サービスとなっており、当事業分野においては特にエンジニアの逼迫が顕著となっており、今後の成長が十分期待されます。

一方で軽作業系人材サービスの一部において、禁止業務地域への派遣禁止及び二重派遣の禁止等の派遣元責任者としての責任・管理徹底が求められており、コンプライアンス体制の整備を迅速に図っております。

特に人材サービスにおいては、全社的にコンプライアンス体制の整備・ガバナンスの強化を最重要課題として取り組んでおります。

なお、当第1四半期の営業利益は前年同四半期に対しグッドウィル・プレミア各社ののれん償却及びグッドウィル・グループ(株)への業務委託費を賦課した後の業績になっております。

(介護・医療支援事業)

(単位:百万円)

| | 20年6月期第1四半期 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日 | 19年6月期第1四半期 自平成18年7月1日 至平成18年9月30日 | 増減率 |
|--------------|--|--|--------|
| 外部顧客に対する売上高 | 16,206 | 20,282 | 20.0% |
| セグメント間の売上高 | 0 | 0 | 51.5% |
| 売上高計 | 16,206 | 20,283 | 20.0% |
| 営業利益(又は営業損失) | 1,792 | 517 | 246.4% |

介護・医療支援事業においては、当社グループ内における介護・医療支援事業からの全面撤退を表明しており、当第1四半期において、その事業譲渡をすすめてまいりました。

特に(株)コムスの事業譲渡においては、在宅事業は、四国・九州など14県をセントケア・ホールディング(株)に、東日本など13都道府県を(株)ジャパンケアサービスに、長野・兵庫など5府県を(株)ニチイ学館に、残り15府県を11事業者に譲渡する事となりました。

介護施設事業は、有料老人ホーム・グループホーム事業を(株)ニチイ学館に、高級有料老人ホーム事業を(株)ゼクスに譲渡する事となりました。

日本シルバーサービス(株)の有料老人ホーム事業、(株)コムス関東のデイサービス事業のそれぞれを(株)ニチイ学館に譲渡する事となりました。当第1四半期中において譲渡が完了したため両社業績は当セグメントから外れております。

(株)クリスタル介護センター、(株)クリスタル介護施設センターの両社は、平成19年10月19日に同社の代表者に事業譲渡を致しました為、両社業績は当セグメントに算入されております。

当社グループ内介護・医療支援事業は、当第1四半期においては事業継続に伴う営業損失が発生しております。

介護・医療支援事業の事業譲渡及び介護関連資産の売却等は当第1四半期には未反映であり、第2四半期連結会計期間(平成19年10月～平成19年12月)において反映される見込みです。

(その他事業)

(単位:百万円)

| | 20年6月期第1四半期 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日 | 19年6月期第1四半期 自平成18年7月1日 至平成18年9月30日 | 増減率 |
|--------------|--|--|-------|
| 外部顧客に対する売上高 | 2,682 | 3,553 | 24.5% |
| セグメント間の売上高 | 346 | 206 | 67.5% |
| 売上高計 | 3,028 | 3,760 | 19.4% |
| 営業利益(又は営業損失) | 742 | 377 | 96.4% |

レストラン事業は国内42店舗、海外2店舗を展開しております。

事業本体の成長及び株主還元としてお食事優待としての利用や従業員の福利厚生の一環としての有効活用も図っております。

当社の介護事業の撤退方針により、介護事業とのシナジーが見込まれた保育事業(株)コティ及び(株)グレースの両社は、アートコーポレーション(株)に当第1四半期中に譲渡を致しましたので当セグメントから外れております。

尚、コムスのパーリントンハウス事業の業績は、当セグメントに算入され営業損失が発生しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態に関する分析

当第1四半期末の総資産は3,827億4百万円と前連結会計年度末に比べて160億66百万円の増加となりました。また、株主資本は204億63百万円と前連結会計年度末に比べて109億47百万円の増加となりました。主な増減要因は第三者割当(ドイツ銀行)による新株予約権40万個の発行及びその行使により株主資本が112億97百万円、現金及び預金112億97百万円増加していることによるものであります。

増資による自己資本の充実に伴い、自己資本比率は前連結会計年度末の2.6%から5.3%へと大きく改善しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績は、概ね計画どおりに推移していることから、現時点においては、平成19年9月25日に発表致しました平成20年6月期の通期連結業績予想について変更はありません。

尚、当社は、中間期連結業績予想値を算出していないため、当該予想値につきましては記載を省略しております。

4. その他

期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

会計処理の方法における簡便な方法の採用

退職給付費用及び法人税等の計上において、一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. 第1四半期連結財務諸表

第1四半期の(要約)連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 19年6月期第1四半期 平成18年9月30日現在 | | 20年6月期第1四半期 平成19年9月30日現在 | | 前年同期比増減 | | (参考) 平成19年6月期 |
|-----------------|-----------------------------|--------|-----------------------------|--------|-----------|--------|------------------|
| | (A) | | (B) | | 金額(B)-(A) | 増減率 | 金額 |
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | | | |
| (資産の部) | | | | | | | |
| 流動資産 | | | | | | | |
| 1. 現金及び預金 | 26,329 | | 72,633 | | 46,303 | 175.9% | 59,601 |
| 2. 受取手形及び売掛金 | 36,399 | | 102,479 | | 66,079 | 181.5% | 86,458 |
| 3. たな卸資産 | 1,219 | | 1,594 | | 375 | 62.7% | 1,520 |
| 4. その他 | 5,353 | | 44,324 | | 38,971 | 176.0% | 53,730 |
| 流動資産合計 | 69,302 | 37.7% | 221,030 | 57.8% | 151,728 | 218.9% | 201,311 |
| 固定資産 | | | | | | | |
| 1. 有形固定資産 | 55,210 | | 61,328 | | 6,117 | 11.1% | 67,382 |
| 2. 無形固定資産 | 42,536 | | 77,282 | | 34,746 | 81.7% | 75,992 |
| 3. 投資その他の資産 | 16,622 | | 23,062 | | 6,439 | 38.7% | 21,952 |
| 固定資産合計 | 114,370 | 62.3% | 161,673 | 42.2% | 47,303 | 41.4% | 165,327 |
| 資産合計 | 183,672 | 100.0% | 382,704 | 100.0% | 199,031 | 108.4% | 366,638 |
| (負債の部) | | | | | | | |
| 流動負債 | | | | | | | |
| 1. 支払手形及び買掛金 | 1,398 | | 4,785 | | 3,387 | 765.8% | 3,420 |
| 2. 短期借入金 | 46,994 | | 173,420 | | 126,426 | 269.0% | 168,004 |
| 3. その他 | 22,858 | | 123,724 | | 100,866 | 421.9% | 114,099 |
| 流動負債合計 | 71,251 | 38.8% | 301,930 | 78.9% | 230,679 | 323.8% | 285,524 |
| 固定負債 | | | | | | | |
| 1. 社債 | 2,104 | | 3,549 | | 1,445 | 68.7% | 6,255 |
| 2. 長期借入金 | 47,108 | | 20,820 | | 26,287 | 55.8% | 24,459 |
| 3. その他 | 13,471 | | 8,154 | | 5,316 | 39.5% | 14,441 |
| 固定負債合計 | 62,683 | 34.1% | 32,524 | 8.5% | 30,159 | 48.1% | 45,156 |
| 負債合計 | 133,935 | 72.9% | 334,455 | 87.4% | 200,520 | 149.7% | 330,680 |
| (純資産の部) | | | | | | | |
| 株主資本 | | | | | | | |
| 1. 資本金 | 26,618 | 14.5% | 32,267 | 8.4% | 5,648 | 21.2% | 26,618 |
| 2. 資本剰余金 | 35,620 | 19.4% | 41,453 | 10.8% | 5,833 | 16.4% | 35,980 |
| 3. 利益剰余金 | 9,556 | 5.2% | 50,751 | 13.3% | 41,194 | - | 50,576 |
| 4. 自己株式 | 3,978 | 2.2% | 2,506 | 0.7% | 1,471 | 37.0% | 2,506 |
| 株主資本合計 | 48,704 | 26.5% | 20,463 | 5.3% | 28,240 | 58.0% | 9,516 |
| 評価・換算差額等 | | | | | | | |
| 1. その他有価証券評価差額金 | 6 | 0.0% | 68 | 0.0% | 74 | - | 73 |
| 2. 繰延ヘッジ損益 | 54 | 0.1% | - | 0.0% | 54 | - | 47 |
| 3. 為替換算調整勘定 | 151 | 0.1% | 133 | 0.0% | 284 | - | 165 |
| 評価・換算差額等合計 | 199 | 0.1% | 65 | 0.0% | 264 | - | 44 |
| 少数株主持分 | 1,232 | 0.7% | 27,719 | 7.2% | 26,487 | - | 26,396 |
| 純資産合計 | 49,737 | 27.1% | 48,249 | 12.6% | 1,488 | 3.0% | 35,957 |
| 負債純資産合計 | 183,672 | 100.0% | 382,704 | 100.0% | 199,031 | 108.4% | 366,638 |

第1四半期の(要約)連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)

| 科目 | 19年6月期第1四半期 | | 20年6月期第1四半期 | | 前年同期比増減 | | (参考) 平成19年6月期 |
|-----------------------|---------------------------|--------|---------------------------|--------|-----------|---------|------------------|
| | 自平成18年7月1日 至平成18年9月30日 | | 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日 | | 金額(B)-(A) | 増減率 | |
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | | | 金額 |
| 売上高 | 60,359 | 100.0% | 172,268 | 100.0% | 111,908 | 185.4% | 509,001 |
| 売上原価 | 41,021 | 68.0% | 136,420 | 79.2% | 95,399 | 232.6% | 386,397 |
| 売上総利益 | 19,337 | 32.0% | 35,847 | 20.8% | 16,509 | 85.4% | 122,603 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,550 | 29.1% | 35,499 | 20.6% | 17,948 | 102.3% | 112,657 |
| (うち のれん償却額) | (579) | (1.0%) | (1,107) | (0.6%) | (528) | (91.2%) | (2,954) |
| 営業利益 | 1,787 | 2.9% | 348 | 0.2% | 1,438 | 80.5% | 9,945 |
| 営業外収益 | 158 | 0.3% | 279 | 0.2% | 121 | 76.7% | 2,199 |
| 営業外費用 | 430 | 0.7% | 2,861 | 1.7% | 2,431 | 565.4% | 5,351 |
| 経常利益 | 1,515 | 2.5% | 2,233 | 1.3% | 3,749 | - | 6,794 |
| 特別利益 | 0 | 0.0% | 1,073 | 0.6% | 1,072 | - | 1,133 |
| 特別損失 | 12 | 0.0% | 471 | 0.3% | 459 | - | 41,183 |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失 | 1,502 | 2.5% | 1,632 | 1.0% | 3,135 | - | 33,256 |
| 法人税等 | 1,210 | 2.0% | 1,266 | 0.7% | 56 | 4.6% | 6,675 |
| 少数株主損益 | 19 | 0.0% | 292 | 0.2% | 273 | - | 776 |
| 四半期(当期)純利益又は純損失 | 312 | 0.5% | 3,191 | 1.9% | 3,503 | - | 40,708 |

(注) 1.前年同期比増減欄の増減率は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{\text{(B)当年第1四半期の実態} - \text{(A)前年第1四半期の実態}}{\text{(A)前年第1四半期の実態}} \times 100$$

2.上記の数値は、未監査であります。

セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年6月期第1四半期)

(単位:百万円)

| | 人材派遣・ 請負 | 人材関連 | 介護・医療 支援 | シニアレジデンス・ レストラン | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-------------------|-------------|------|-------------|--------------------|-----|--------|--------|--------|
| 外部顧客に対する売上高 | 36,522 | 546 | 20,282 | 2,662 | 344 | 60,359 | - | 60,359 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 100 | 2 | 0 | 202 | 1 | 307 | 307 | - |
| 計 | 36,623 | 549 | 20,283 | 2,864 | 346 | 60,666 | 307 | 60,359 |
| 営業費用 | 34,301 | 639 | 20,800 | 3,145 | 353 | 59,240 | 668 | 58,572 |
| 営業利益(又は営業損失) | 2,321 | 90 | 517 | 280 | 6 | 1,426 | 360 | 1,787 |

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の内容

- (1) 人材派遣・請負事業・・・人材派遣・請負、警備・建設関係作業請負、技術者派遣、シニア派遣
- (2) 人材関連事業・・・社員カウンセリングプログラム(EAP)、人材採用支援、再就職支援
- (3) 介護・医療支援事業・・・在宅介護、施設介護、マッサージ師の事務代行
- (4) シニアレジデンス・レストラン事業・・・シニアレジデンスの運営、飲食店の経営、食料品の販売
- (5) その他・・・ペットケア、保育所の運営

当第1四半期 (平成20年6月期第1四半期)

(単位:百万円)

| | 人材派遣・ 請負 | 介護・医療 支援 | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-------------------|-------------|-------------|-------|---------|--------|---------|
| 外部顧客に対する売上高 | 153,379 | 16,206 | 2,682 | 172,268 | - | 172,268 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 375 | 0 | 346 | 721 | 721 | - |
| 計 | 153,754 | 16,206 | 3,028 | 172,990 | 721 | 172,268 |
| 営業費用 | 151,705 | 17,998 | 3,770 | 173,475 | 1,555 | 171,919 |
| 営業利益(又は営業損失) | 2,049 | 1,792 | 742 | 485 | 833 | 348 |

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の内容

- (1) 人材派遣・請負事業・・・人材派遣・請負、警備・建設関係作業請負、技術者派遣、シニア派遣
- (2) 介護・医療支援事業・・・在宅介護、施設介護
- (3) その他・・・シニアレジデンスの運営、飲食店の経営、食料品の販売

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,612百万円であり、その主なものは当社の管理部門に係る費用であります。

4 事業区分の方法の変更

事業区分は従来「人材派遣・請負事業」、「人材関連事業」、「介護・医療支援事業」、「シニアレジデンス・レストラン事業」及び「その他事業」の5区分としておりましたが、前連結会計年度から「人材派遣・請負事業」、「介護・医療支援事業」及び「その他事業」の3区分に変更いたしました。

従来「人材関連事業」及び「シニアレジデンス・レストラン事業」として表示していた事業は、連結子会社の増加により当該事業の割合が低下し、重要性が乏しくなったため、「その他事業」に含めて表示する方法に変更いたしました。

(参考) 前期(19年6月期)

(単位:百万円)

| | 人材派遣・ 請負 | 介護・医療 支援 | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-------------------|-------------|-------------|--------|---------|--------|---------|
| 外部顧客に対する売上高 | 410,329 | 84,433 | 14,238 | 509,001 | - | 509,001 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,012 | 0 | 1,061 | 2,074 | 2,074 | - |
| 計 | 411,341 | 84,434 | 15,299 | 511,075 | 2,074 | 509,001 |
| 営業費用 | 394,838 | 89,278 | 17,758 | 501,875 | 2,820 | 499,055 |
| 営業利益(又は営業損失) | 16,503 | 4,844 | 2,459 | 9,200 | 745 | 9,945 |

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年6月期第1四半期)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期 (平成20年6月期第1四半期)

(単位:百万円)

| | 日本 | 北米 | 欧州 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-------------------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|
| 外部顧客に対する売上高 | 124,846 | 36,265 | 11,156 | 172,268 | - | 172,268 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 30 | 7 | - | 38 | 38 | - |
| 計 | 124,876 | 36,273 | 11,156 | 172,306 | 38 | 172,268 |
| 営業費用 | 124,831 | 35,960 | 11,061 | 171,853 | 66 | 171,919 |
| 営業利益(又は営業損失) | 44 | 313 | 94 | 452 | 104 | 348 |

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米: アメリカ
 (2) 欧州: オランダ、イギリス
 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,612百万円であり、その主なものは当社の管理部門に係る費用であります。

(参考) 前期(19年6月期)

(単位:百万円)

| | 日本 | 北米 | 欧州 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-------------------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|
| 外部顧客に対する売上高 | 421,491 | 63,657 | 23,851 | 509,001 | - | 509,001 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 194 | - | - | 194 | 194 | - |
| 計 | 421,685 | 63,657 | 23,851 | 509,195 | 194 | 509,001 |
| 営業費用 | 412,289 | 63,682 | 23,821 | 499,793 | 738 | 499,055 |
| 営業利益(又は営業損失) | 9,396 | 25 | 29 | 9,401 | 544 | 9,945 |